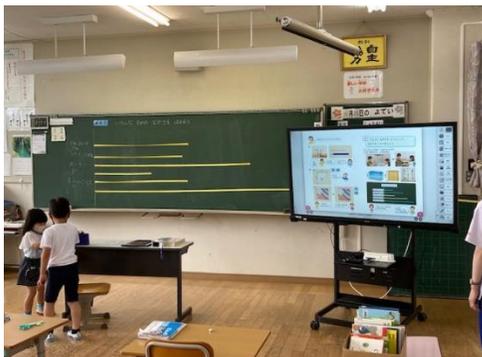


竹田市立白丹小学校 【ICT活用の実際、板書の構造化、自尊感情の醸成、自立した学習者の育成】

1. ICT活用の実際



1年 算数科
⇒ デジタルテキスト



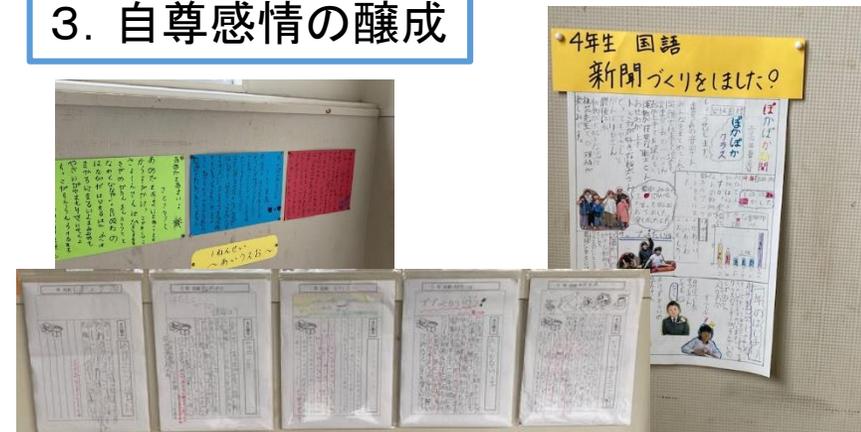
4・5年 道徳
⇒ 前時の振り返り投影

2. 板書の構造化



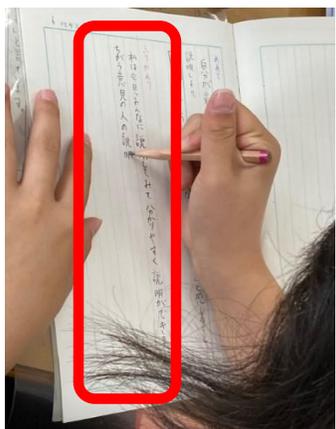
6年 国語科 ⇒ 思考ツール

3. 自尊感情の醸成



読書日記や児童作品の掲示物

4. 自立した学習者の育成



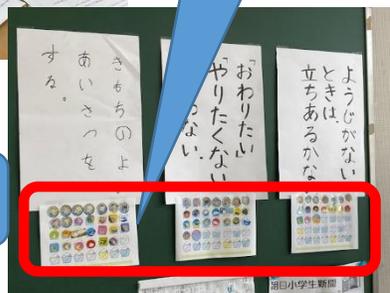
ノートに「振り返り」



ワークシート
⇒ 感想(「振り返り」)



毎日の
「振り返り」実施



「めあて」振り返りシール

1. 1年の算数科では、デジタルテキストをテレビに投影していました。はかり方などを確認したら長さをはかっていました。また、4・5年の道徳では、前時に学習した内容の板書をテレビに投影することが、前時を振り返りながら学習を進めるのに効果的な活用になっていました。
2. 6年の国語科では、板書の構造化と単元計画の進捗が確認できるように掲示物が用意されていました。また、思考ツールの活用で、思考力・判断力・表現力等の育成に役立つものとなっていました。
3. 読書日記や児童の作品を掲示することで、児童がいつでも目にすることができ、自尊感情の醸成に繋がるものになっていました。
4. 『自立した学習者の育成』として、ノートに振り返りを記入し、ワークシートには、感想(振り返り)の記入をしていました。また、「めあて」の掲示物には、シールを貼ることで毎日の振り返りができるように工夫していました。